

～春の土壌改良資材「ミネラルPK」を施用しよう～

稲は、肥料と土壌から養分を得ています。水田土壌のリン酸・加里が欠乏すると、稲の収量に大きな影響があります。土壌改良資材を施用し、不足している成分を補給しましょう。

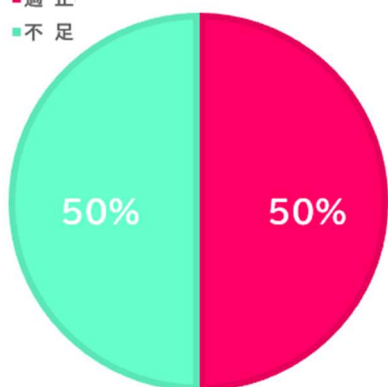
管内圃場 66 地点の土壌診断結果によると・・・



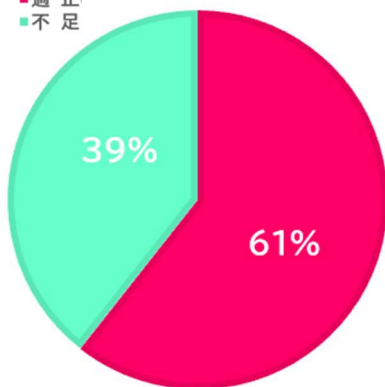
リン酸

加里

■ 適正
■ 不足



■ 適正
■ 不足



リン酸の効果

細胞分裂に必要な成分。分けつ^つの促進や草丈の伸長など成長に必要な不可欠な要素。

加里の効果

登熟・根張りの向上。根・茎を丈夫にし、耐病性を高めます。



ミネラル PK には、ようりんと同等のリン酸に加え、加里や石灰などが含まれています。即効性も高く、春の土壌改良資材としての施用が効果的ですが、生育中期の、葉色が薄い時に施用すると、根の活力が高まり葉色が濃くなります。

◎成分分析例(%)

チッソ	リンサン	カリ	苦土	石灰	ホウ素	マンガン	ケイ酸
0	20	18	6	28	0.1	0.2	1.5

春耕起前 施用量: 60kg/10a

ミネラルPK特別価格のご案内

ミネラルPKを 500 本まとめてご予約いただくと

特別価格 1,320 円(税込)

さらに・・・1,000 本まとめてご予約いただくと

特別価格 1,210 円(税込)

※ご注文は、池ノ上総合配送センター(TEL:24-3377)までお願いします。

獣害対策 ～身近なことからコツコツと～

有害鳥獣の防御柵としてワイヤーメッシュ柵を設置する方が増えています。設置して終わりではなく、電気柵と同様に日々の点検や管理を欠かさず行うことで、被害発生を抑え、防御効果を持続させましょう。

○あきらめないで。粘り強く、何度でも対策をしましょう。

◆設置後も見回り点検を行い、不良箇所は修繕し、獣の侵入を防ぎましょう。



○獣の隠れそうな場所をなくしましょう。

管理されていない竹林・藪や空き家は、獣たちの隠れ場所となります。獣たちに安全な居場所を与えないようにしましょう。

◆竹林や藪は、適宜刈り払い、見通しをよくして、隠れ場所をなくし、空き家の床下・天井を定期的に点検し、獣が侵入していないかを確認しましょう。



○畑に残った野菜や放任果樹は、食べさせないようにしましょう。

畑に作物の取り残しがあると、鳥獣の食料になります。餌場にならないように管理しましょう。

◆獣のエサにならないように、農作物は必ず収穫しましょう。果樹は伐採や枝の剪定を行い、実がつかないようにしましょう。



獣害対策は、農家だけの問題ではありません。地域全体の重大な課題です。